

青梅市の農業に関する市民アンケート調査報告書

令和 7 年 3 月

目次

I	調査の概要.....	1
	(1) 調査の目的.....	1
	(2) 調査の方法.....	1
	(3) 主な調査項目	1
	(4) 留意点.....	1
II	調査結果.....	2
1	青梅市農業とその役割について	2
2	農村地域の役割について.....	6
3	地場農産物の購入、消費について	8
4	農業体験について.....	20
5	農家との交流について	24
6	あなたご自身とご家族について	26
7	青梅市農業の振興のためのアイデアなど	31

I 調査の概要

(1)調査の目的

青梅市の農業や農地については、高齢化や後継者不足などで5年後、10年後にさらに耕作放棄地が増加すると考えられることから、今後どのように農業振興を図っていくのか、将来の方針を考えていく必要がある。

このため、本調査は、市民の農業との関わりや青梅市の農業への思いをお聞きし、今後、市が農業振興基本計画を作成するための参考資料とするため実施したものである。

(2)調査の方法

項 目	内 容
実施主体	青梅市
調査対象	青梅市民、16歳以上、1,000人、無作為抽出
配布・回収方法	郵送による配布および回収
配布数	1,000部
回収数(回収率)	307部(30.7%) ※2025年2月14日現在

(3)主な調査項目

- 1 青梅市農業とその役割について
- 2 農村地域の役割について
- 3 地場農産物の購入、消費について
- 4 農業体験について
- 5 農家との交流について
- 6 あなたご自身とご家族について
- 7 青梅市農業の振興のためのアイデアなど

(4)留意点

ア 回答率は、その設問に回答すべき人数（回答者総数）を分母とした百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。

イ 設問によっては、一人の回答者が一つだけ回答する場合（単数回答）でも、回答率の合計が100%にならないものもある。

ウ 一人の回答者が2以上の回答をしてもよい場合（複数回答）では、回答率の合計は100%を超えることもある。

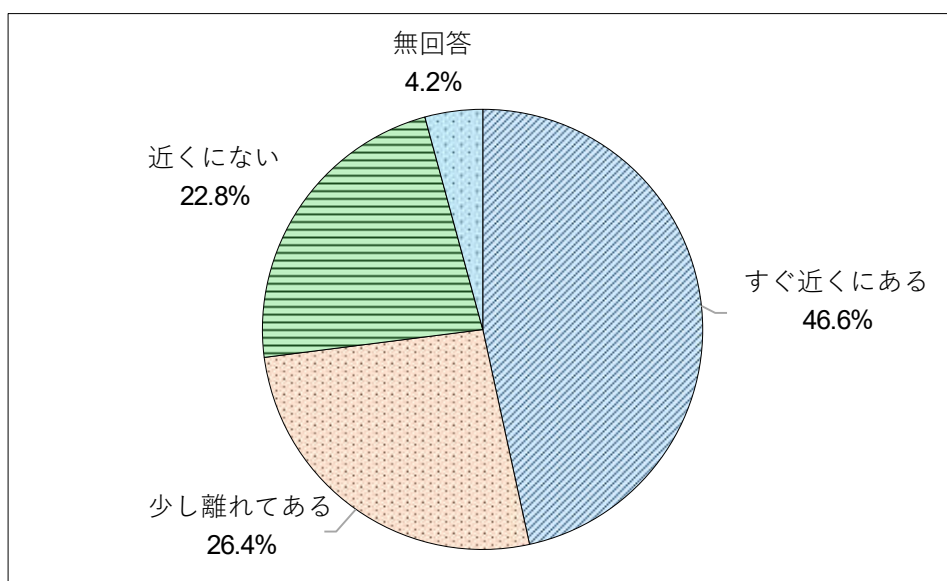
Ⅱ 調査結果

1 青梅市農業とその役割について

問1 家の近くに農地はありますか。1つ選んでください。

1. すぐ近くにある 2. 少し離れてある 3. 近くにない

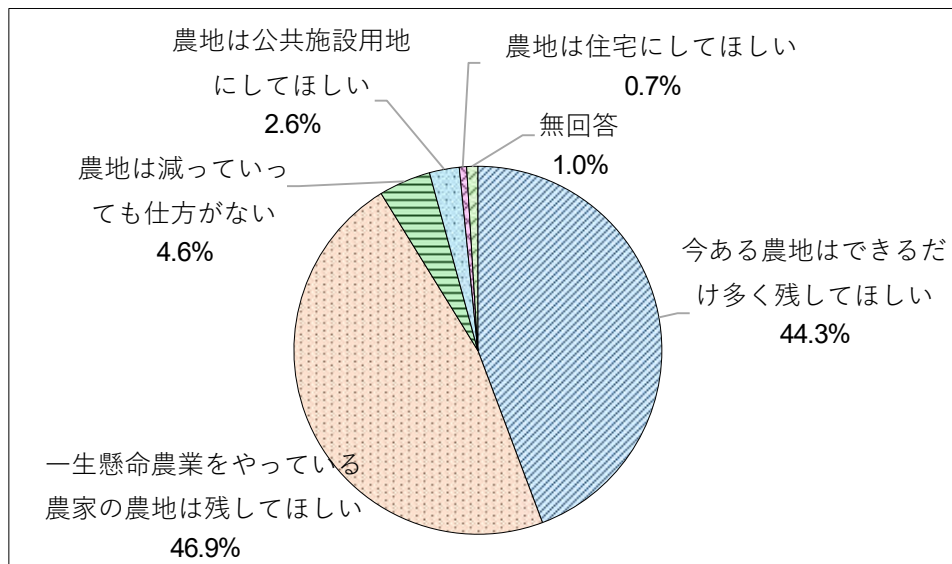
家の周辺にある農地について、「すぐ近くにある」が最も多く46.6%であり、次いで「少し離れてある」が26.4%、「近くにない」が22.8%となっている。



問2 青梅市では、農地が年々減少する傾向にあります。あなたは市街地周辺の農地についてどのようにお考えですか。1つ選んでください。

1. 今ある農地はできるだけ多く残してほしい
2. 一生懸命農業をやっている農家の農地は残してほしい
3. 農地は減っていても仕方がない
4. 農地は公共施設用地にしてほしい
5. 農地は住宅にしてほしい

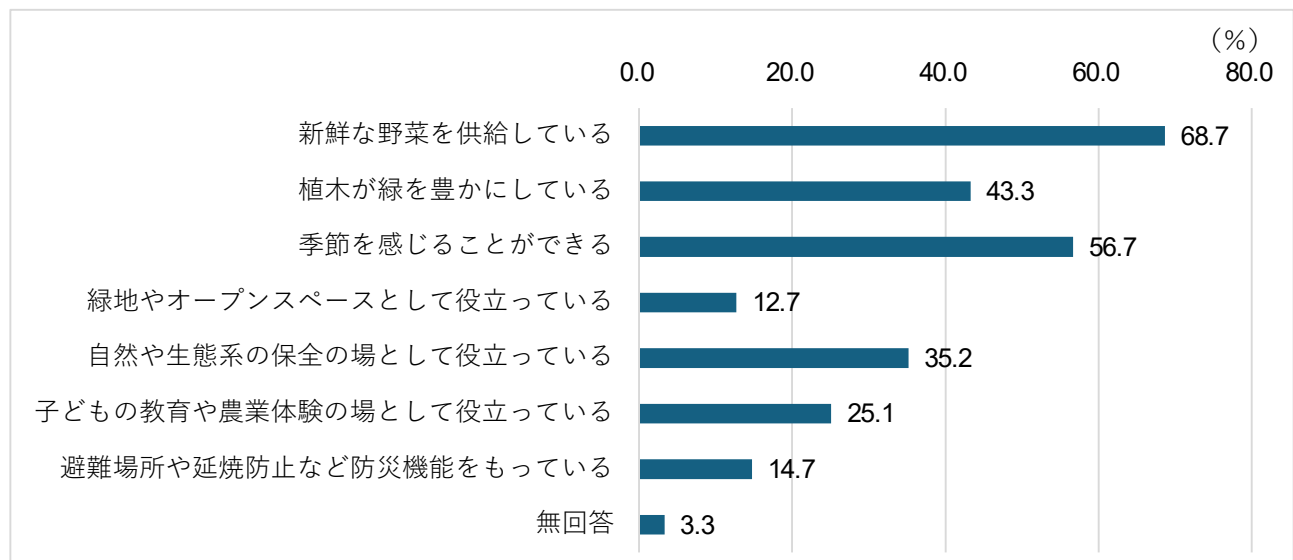
市街地周辺の農地について、「一生懸命農業をやっている農家の農地は残してほしい」が最も多く46.9%であり、次いで「今ある農地はできるだけ多く残してほしい」が44.3%となっている。回答者の90%以上が、「残してほしい」と回答している。



問3 あなたのまわりの農業や農地の機能について感じていることを3つまで選んでください。

1. 新鮮な野菜を供給している
2. 植木が緑を豊かにしている
3. 季節を感じることができる
4. 緑地やオープンスペースとして役立っている
5. 自然や生態系の保全の場として役立っている
6. 子どもの教育や農業体験の場として役立っている
7. 避難場所や延焼防止など防災機能をもっている

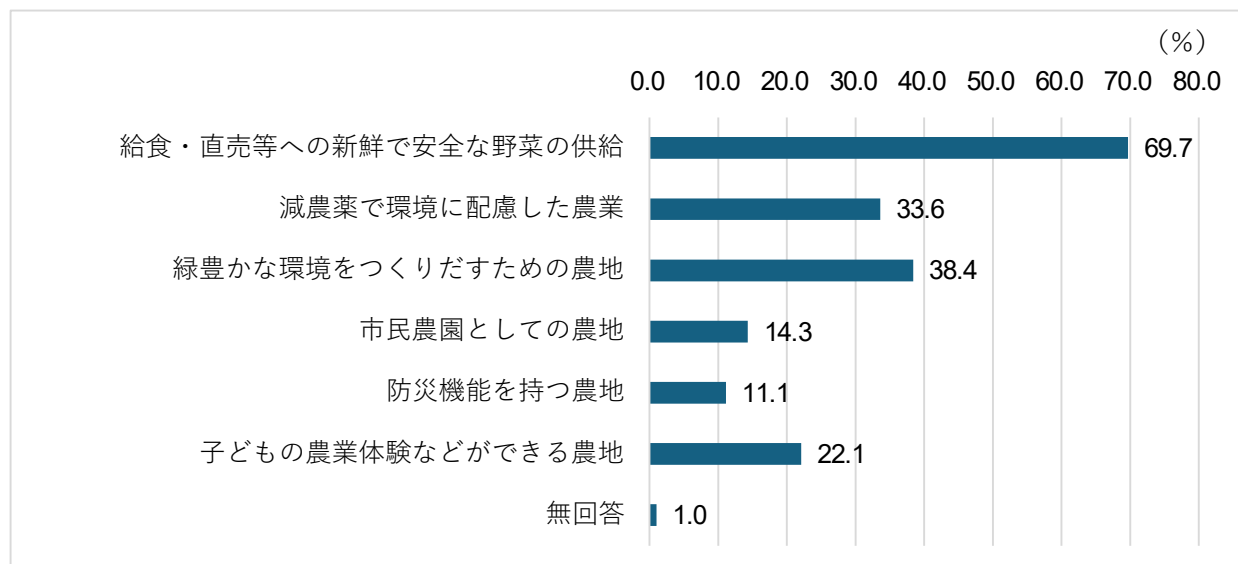
農業や農地の機能について、「新鮮な野菜を供給している」が最も多く 68.7%である。次いで「季節を感じることができる」が 56.7%、「植木が緑を豊かにしている」が 43.3%、「自然や生態系の保全の場として役立っている」が 35.2%となっている。



問4 これからの青梅市の農業・農地についてどんなことを期待しますか。2つまで選んでください。

1. 給食・直売等への新鮮で安全な野菜の供給
2. 減農薬で環境に配慮した農業
3. 緑豊かな環境をつくりだすための農地
4. 市民農園としての農地
5. 防災機能を持つ農地
6. 子どもの農業体験などができる農地

今後の青梅市の農業・農地に対する期待について、「給食・直売等への新鮮で安全な野菜の供給」が最も多く 69.7%となっている。次いで、「緑豊かな環境をつくりだすための農地」が 38.4%、「減農薬で環境に配慮した農業」が 33.6%となっている。

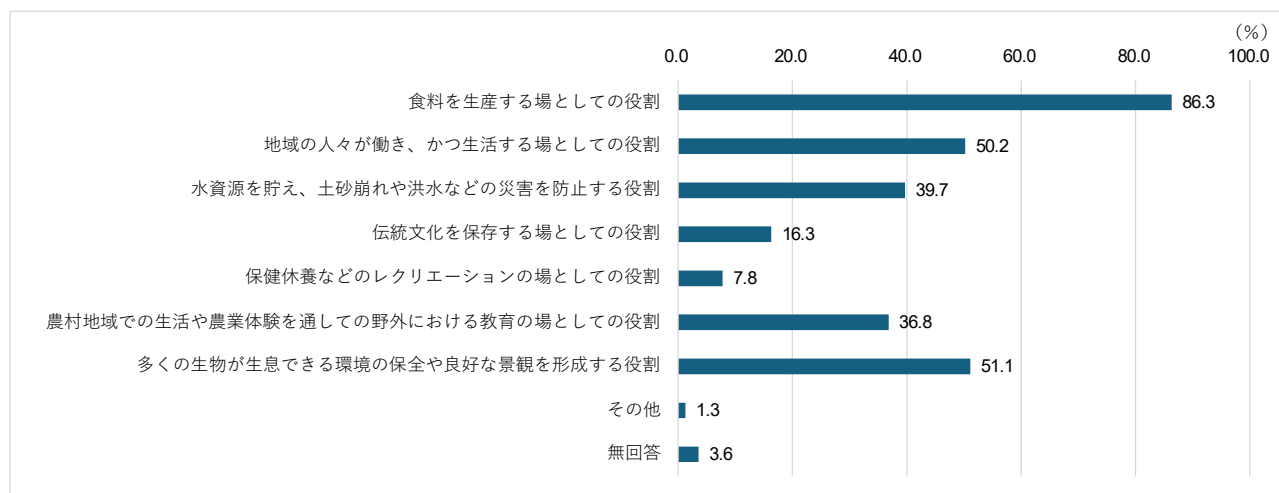


2 農村地域の役割について

問5 あなたは、農村地域の持つ役割の中で、どのようなものが特に重要だと思いますか。いくつでも選んでください。

1. 食料を生産する場としての役割
2. 地域の人々が働き、かつ生活する場としての役割
3. 水資源を貯え、土砂崩れや洪水などの災害を防止する役割
4. 伝統文化を保存する場としての役割
5. 保健休養などのレクリエーションの場としての役割
6. 農村地域での生活や農業体験を通しての野外における教育の場としての役割
7. 多くの生物が生息できる環境の保全や良好な景観を形成する役割
8. その他（.....）

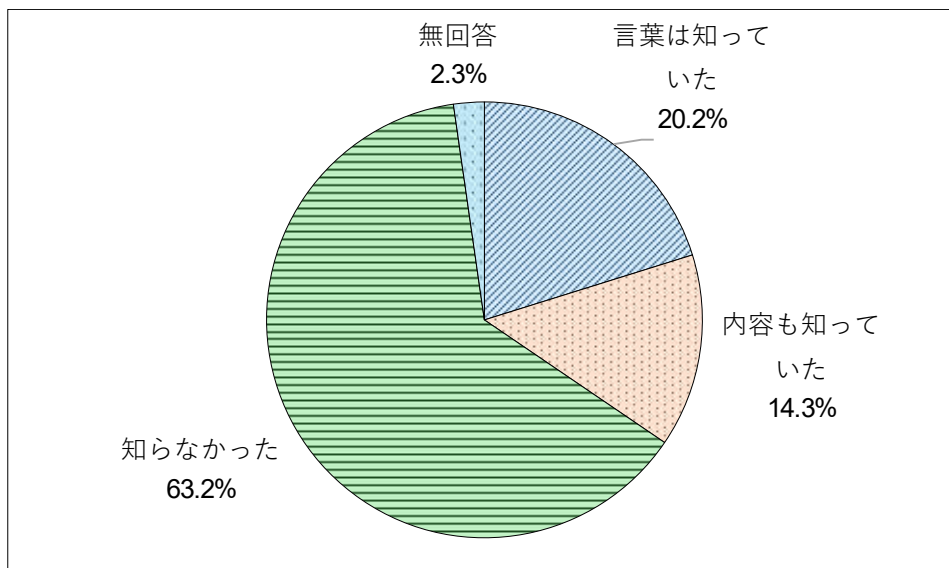
農村地域の持つ役割で重要なのは、「食料を生産する場としての役割」が66.3%で最も多く、次いで、「多くの生物が生息できる環境の保全や良好な景観を形成する役割」が51.1%、「地域の人々が働き、かつ生活する場としての役割」が50.2%となっている。



問6 農業には食料生産だけでなく、国土保全、雨水を土壌中へ蓄え、河川へ流れる量を安定させる機能、景観形成などの機能があり、これを「農業の多面的機能」といいます。あなたは、この「農業の多面的機能」という言葉を知っていましたか。

1. 言葉は知っていた 2. 内容も知っていた 3. 知らなかった

農地の多面的機能という言葉について、「言葉は知っていた」が20.2%、「内容も知っていた」が14.3%であり、「知らなかった」が63.2%となっている。

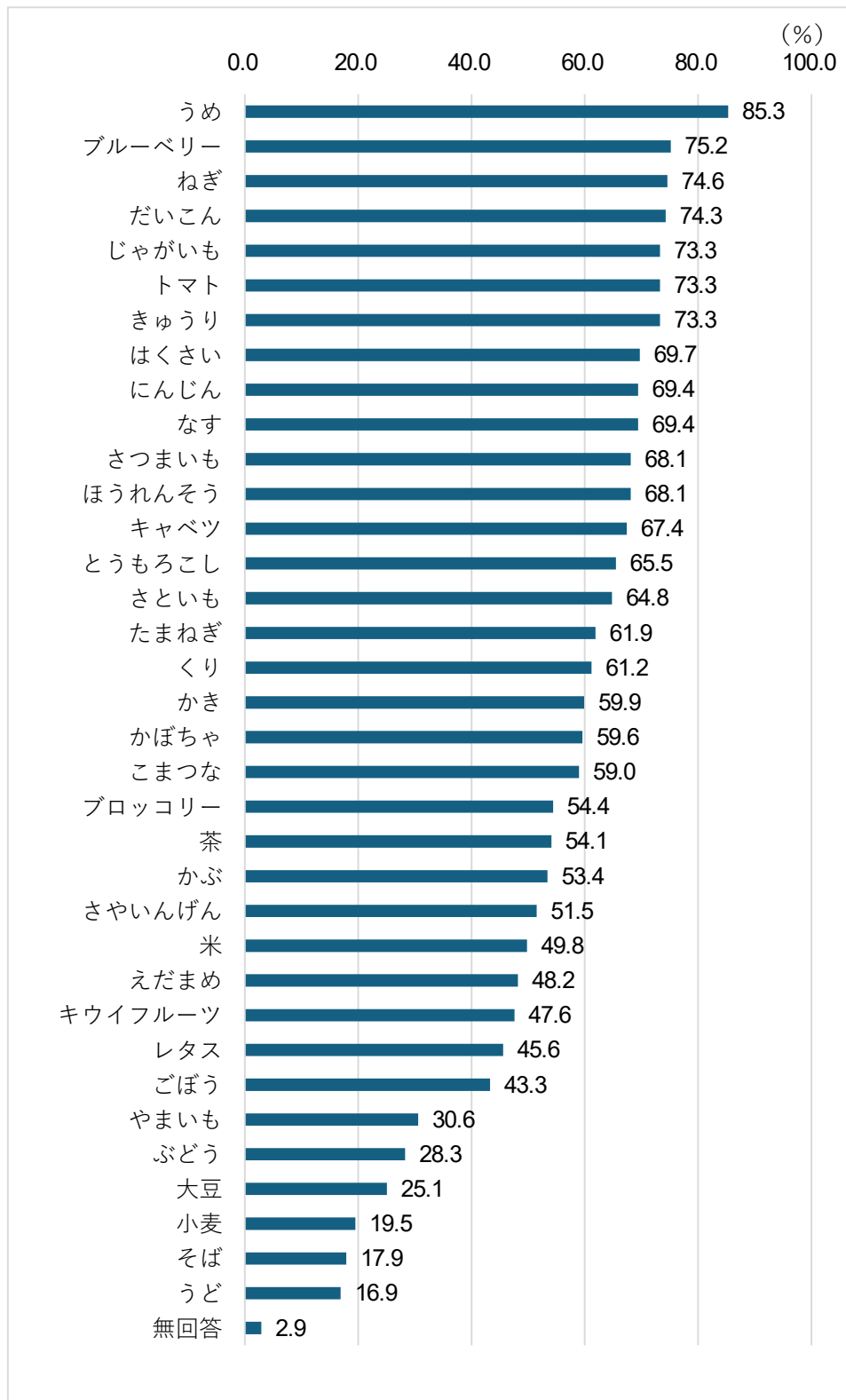


3 地場農産物の購入、消費について

問7 青梅市の農業についてお聞きます。以下に示す農産物は、現在、青梅市で生産されているものです。その中で、あなたが、市内で生産されていることを知っているものすべてを選んでください。

米・麦類	1. 米	2. 小麦		
雑穀類	3. そば	4. とうもろこし		
野菜類	5. 大豆	6. さつまいも	7. じゃがいも	8. にんじん
	9. やまいも	10. ほうれんそう	11. たまねぎ	12. トマト
	13. うど	14. ごぼう	15. はくさい	16. ブロッコリー
	17. きゅうり	18. だいこん	19. こまつな	20. レタス
	21. かぼちゃ	22. さやいんげん	23. かぶ	24. さといも
	25. キャベツ	26. ねぎ	27. なす	28. えだまめ
	29. 茶			
果樹類	30. ぶどう	31. くり	32. かき	33. キウイフルーツ
	34. うめ	35. ブルーベリー		

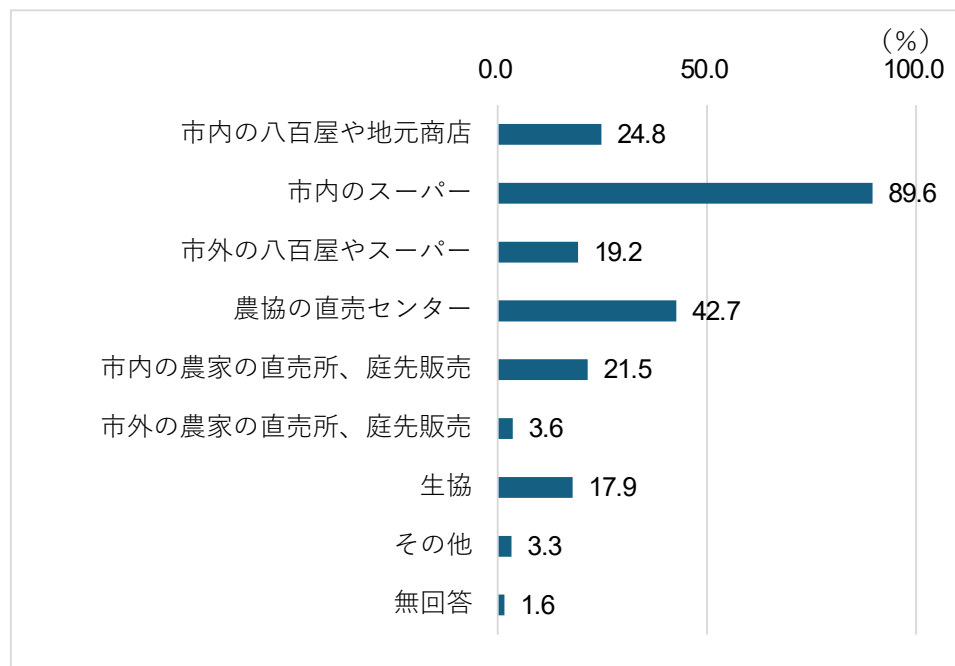
青梅市の特産品に対する認知度について、「うめ」が最も高く 85.3%であり、次いで、「ブルーベリー」が75.2%、「ねぎ」が74.6%、「だいこん」が74.3%、「じゃがいも」と「トマト」、「きゅうり」がともに73.3%となっている。



問8 あなたは日頃、農作物をどこで購入しますか。3つまで選んでください。

1. 市内の八百屋や地元商店	5. 市内の農家の直売所、庭先販売
2. 市内のスーパー	6. 市外の農家の直売所、庭先販売
3. 市外の八百屋やスーパー	7. 生協
4. 農協の直売センター	8. その他（.....）

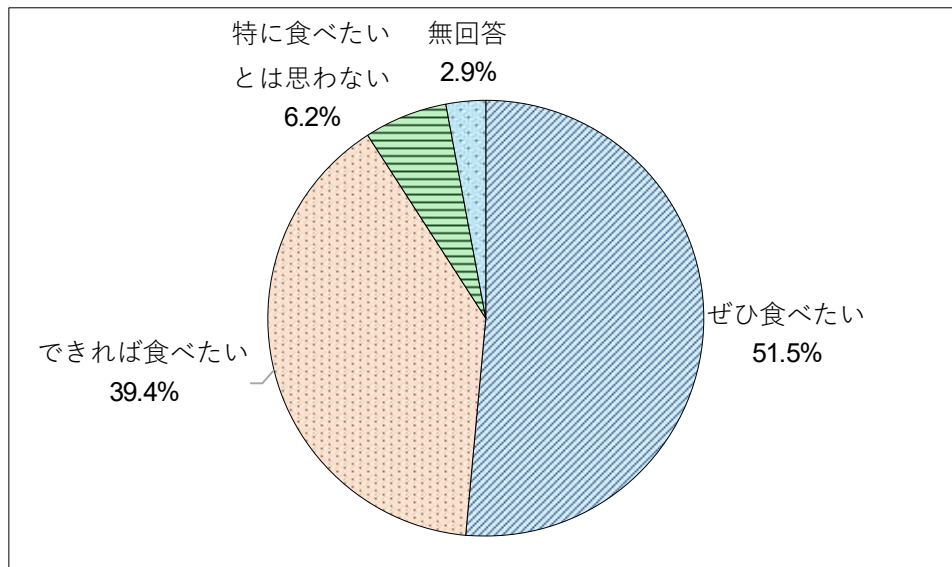
農作物の購入場所は、「市内のスーパー」が最も多く 89.6%であり、次いで「農協の直売センター」が 42.7%、「市内の八百屋や地元商店」が 24.8%となっている。



問9 青梅市内で生産された農産物を食べたいと思いますか。1つ選んでください。

1. ぜひ食べたい 2. できれば食べたい 3. 特に食べたいとは思わない

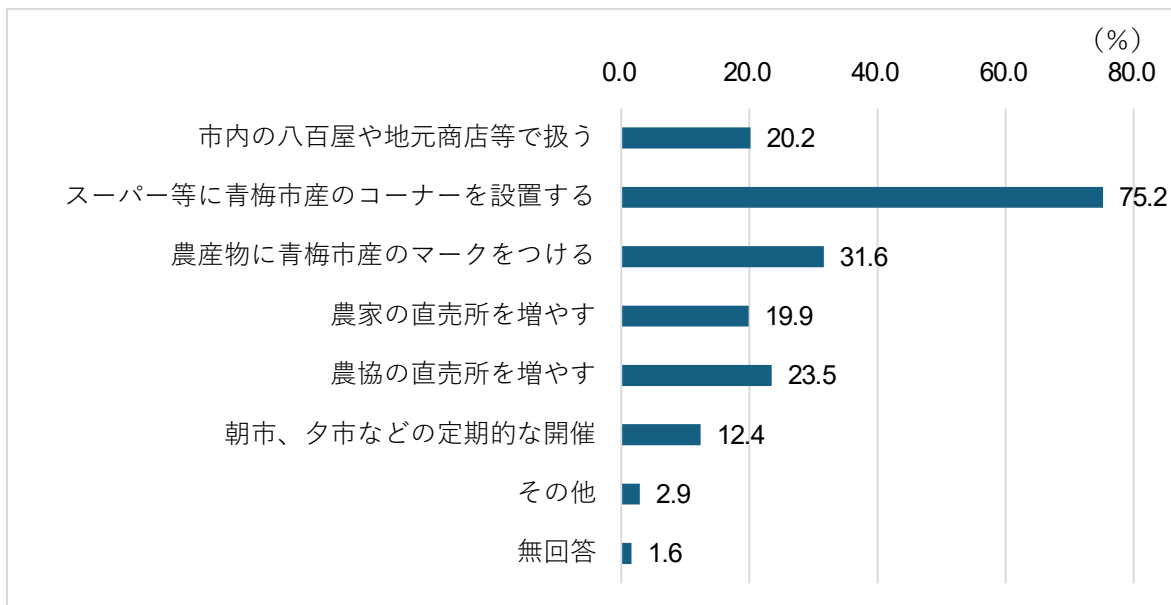
青梅市産の農産物への関心について「ぜひ食べたい」が最も多く 51.5%、次いで、「できれば食べたい」が 39.4%であり、約 90%が青梅市産の農産物を“食べたい”と回答している。



問10 青梅市内で生産された農作物を手に入れやすくするために、必要なことを2つ選んでください。

1. 市内の八百屋や地元商店等で扱う
2. スーパー等に青梅市産のコーナーを設置する
3. 農産物に青梅市産のマークをつける
4. 農家の直売所を増やす
5. 農協の直売所を増やす
6. 朝市、夕市などの定期的な開催
7. その他 (.....)

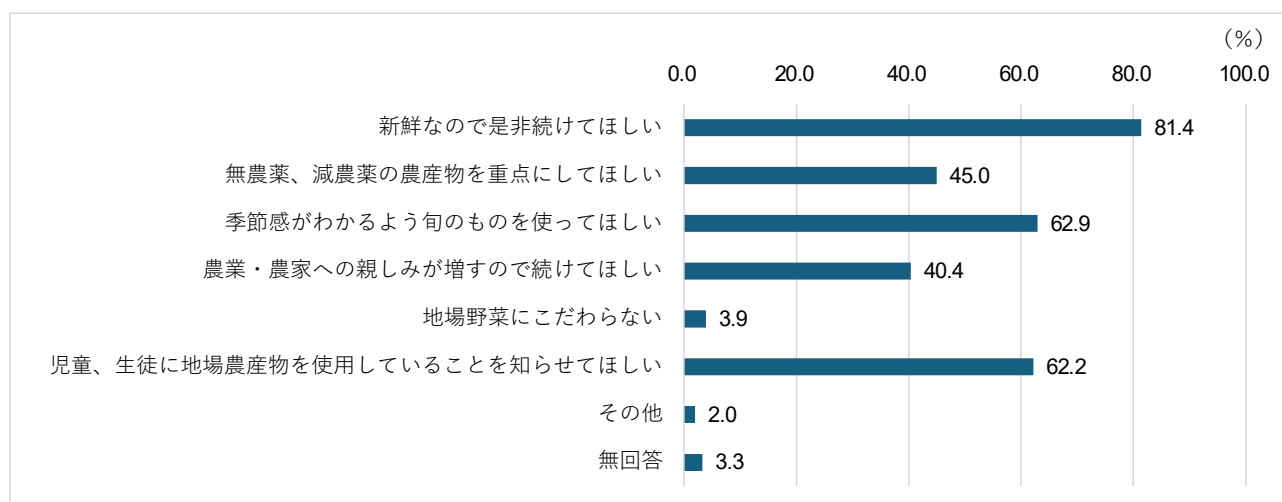
青梅市産の農作物を手に入れやすくする方法について、「スーパー等に青梅市産のコーナーを設置する」が最も多く75.2%であり、次いで、「農産物に青梅市産のマークをつける」が31.6%となっている。



問 11 青梅市では、小中学校の給食に一部地場農産物を使っていますが、これについて思うことをいくつかでも選んでください。

1. 新鮮なので是非続けてほしい
2. 無農薬、減農薬の農産物を重点にしてほしい
3. 季節感がわかるよう旬のものを使ってほしい
4. 農業・農家への親しみが増すので続けてほしい
5. 地場野菜にこだわらない
6. 児童、生徒に地場農産物を使用していることを知らせてほしい
7. その他 (.....)

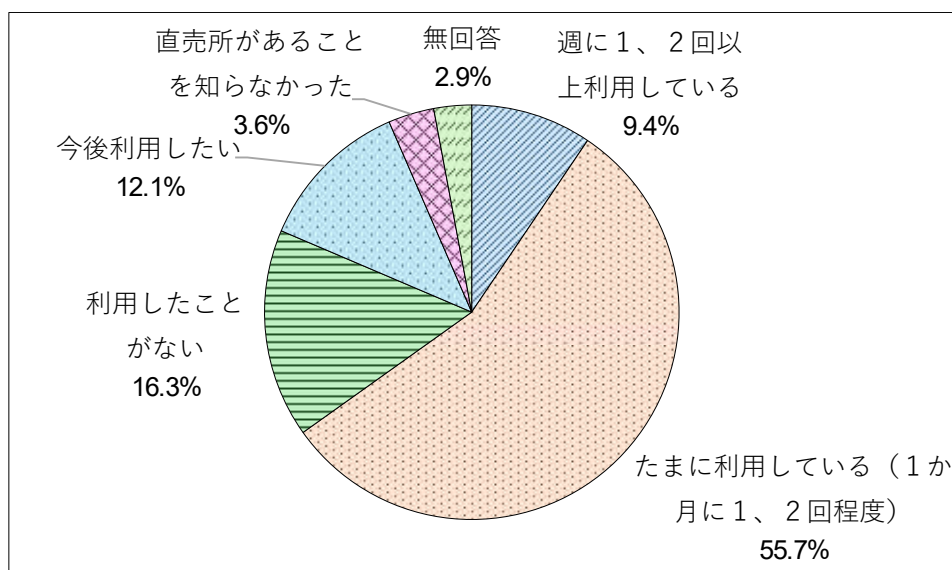
学校給食への地場農産物の使用について、「新鮮なのでぜひ続けてほしい」が最も多く 81.4% であり、次いで、「季節感がわかるよう旬のものを使ってほしい」が 62.9%、「児童、生徒に地場農産物を使用していることを知らせてほしい」が 62.2%、「無農薬、減農薬の農産物を重点にしてほしい」が 45.0%となっている。



問12 近くの農産物直売所を利用したことがありますか。1つ選んでください。

1. 週に1、2回以上利用している
2. たまに利用している（1か月に1、2回程度）
3. 利用したことがない
4. 今後利用したい
5. 直売所があることを知らなかった

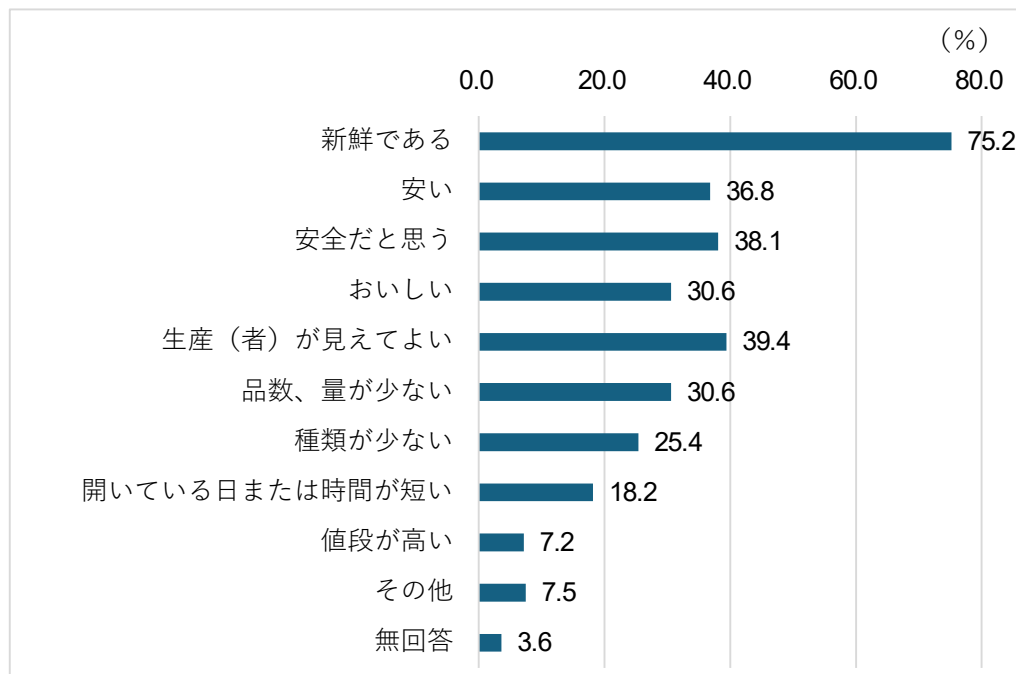
農産物直売所の利用頻度について、「たまに利用している」が55.7%であり、「週に1、2回以上利用している」（9.4%）を含めると65.1%が“直売所を利用している”。一方で、直売所を利用したことがない市民（利用したことがない+今後利用したい+知らなかった）は32.0%であった。



問 13 農産物の直売所（農協の直売センターおよび農家直売）について感じていることを、いくつでも選んでください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 新鮮である | 6. 品数、量が少ない |
| 2. 安い | 7. 種類が少ない |
| 3. 安全だと思う | 8. 開いている日または時間が短い |
| 4. おいしい | 9. 値段が高い |
| 5. 生産（者）が見えてよい | 10. その他（.....） |

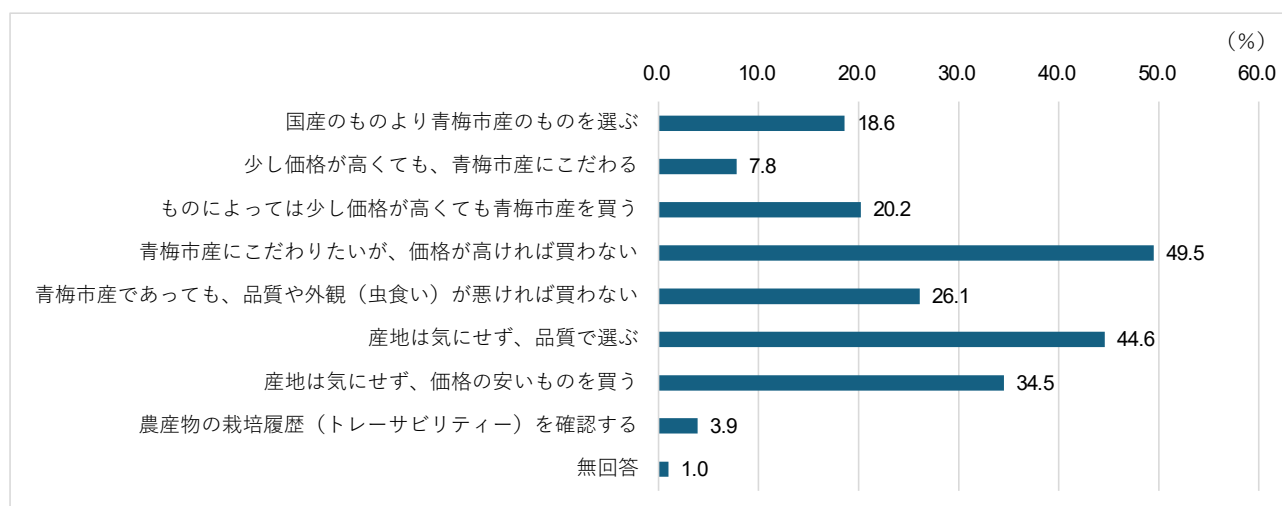
農産物直売所について感じていることは、「新鮮である」が最も多く 75.2%であり、次いで「生産（者）が見えてよい」が 39.4%、「安全だと思う」が 38.1%、「安い」が 36.8%となっている。



問 14 あなたは農産物を買うとき、どのようなことを気にしますか。 いくつでも選んでください。

1. 国産のものより青梅市産のものを選ぶ
2. 少し価格が高くて、青梅市産にこだわる
3. ものによっては少し価格が高くて青梅市産を買う
4. 青梅市産にこだわりたいが、価格が高ければ買わない
5. 青梅市産であっても、品質や外観（虫食い）が悪ければ買わない
6. 産地は気にせず、品質で選ぶ
7. 産地は気にせず、価格の安いものを買う
8. 農産物の栽培履歴（トレーサビリティ）を確認する

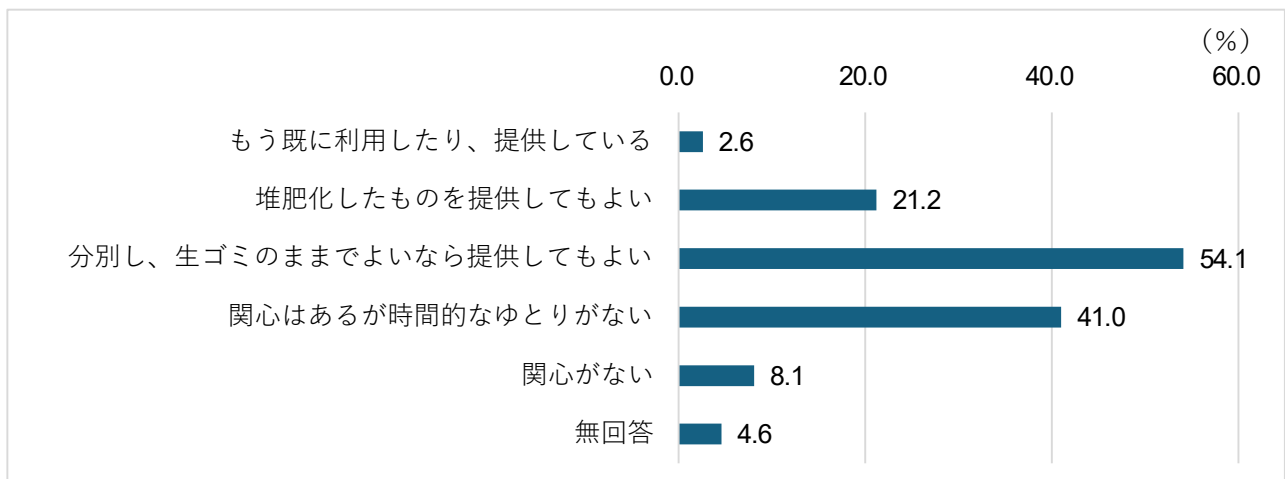
農産物購入時に市民が気にする点について、「青梅市産にこだわりたいが、価格が高ければ買わない」が49.5%で最も多く、次いで「産地は気にせず、品質で選ぶ」が44.6%、「産地は気にせず、価格の安いものを買う」が34.5%となっている。



問 15 今後生ゴミを堆肥化し、農家や市民農園に提供することについてどう思いますか。
2つまで選んでください。

1. もう既に利用したり、提供している
2. 堆肥化したものを提供してもよい
3. 分別し、生ゴミのままでよいなら提供してもよい
4. 関心はあるが時間的なゆとりがない
5. 関心がない

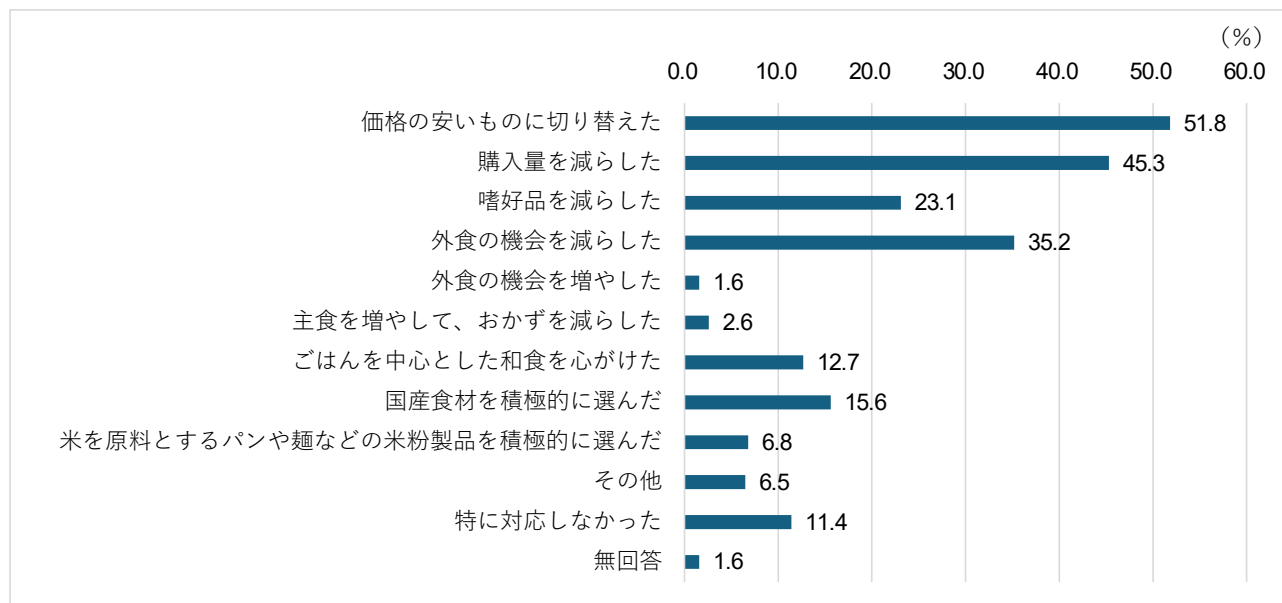
生ごみのたい肥化について、回答者は半数以上が「分別し、生ゴミのままでよいなら提供してもよい」（54.1%）と回答している。一方、「関心はあるが時間的なゆとりがない」が41.0%などとなっている。



問 16 ここ 2～3 年食品価格が高騰していますが、ご自身の食生活においてあなたはどのように対応しましたか。いくつでも選んでください。

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1. 価格の安いものに切り替えた | 8. 国産食材を積極的に選んだ |
| 2. 購入量を減らした | 9. 米を原料とするパンや麺などの米粉製品を積極的に選んだ |
| 3. 嗜好品を減らした | 10. その他
(.....) |
| 4. 外食の機会を減らした | 11. 特に対応しなかった |
| 5. 外食の機会を増やした | |
| 6. 主食を増やして、おかずを減らした | |
| 7. ごはんを中心とした和食を心がけた | |

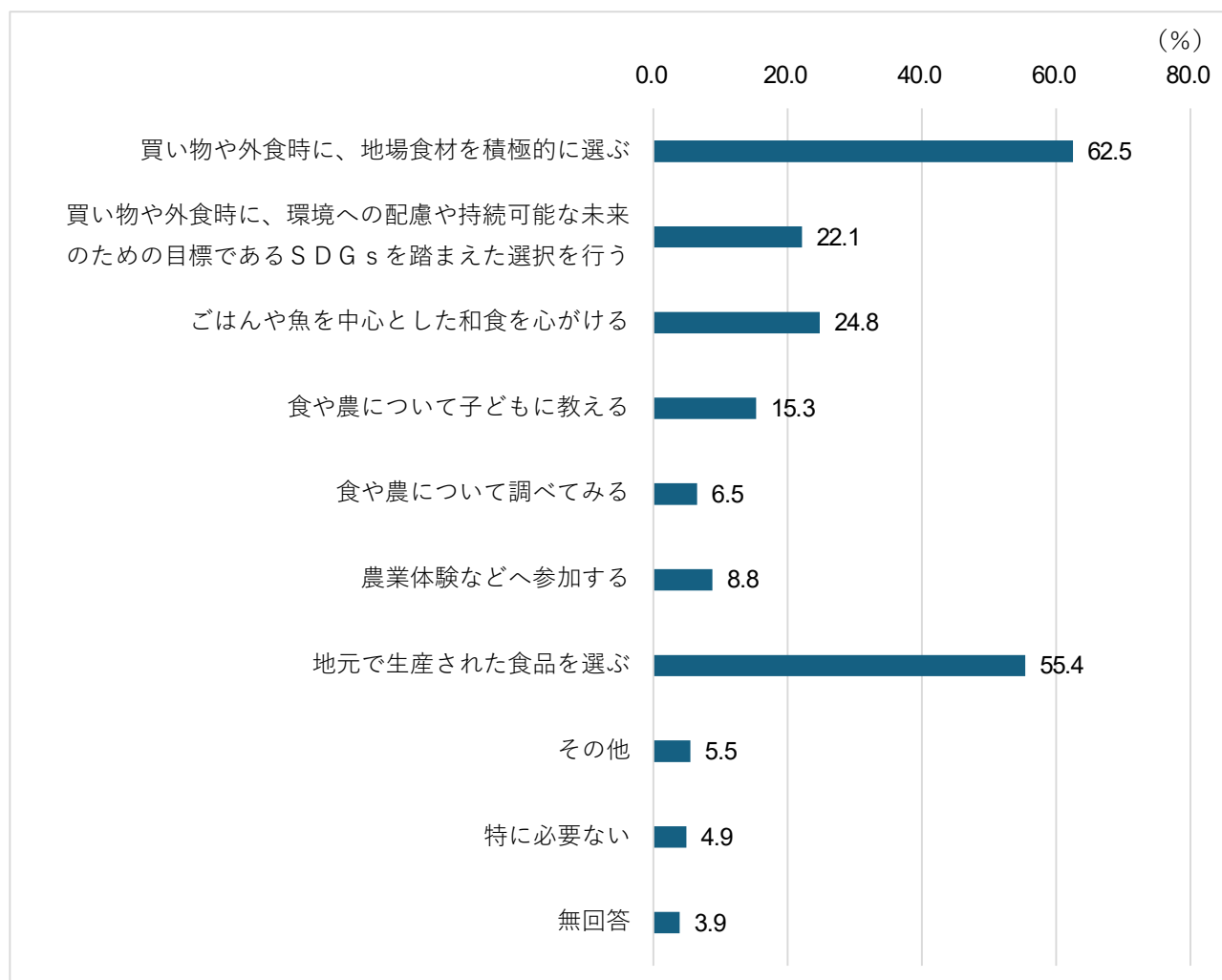
近年の食品価格の高騰への対応は、「価格の安いものに切り替えた」が 51.4%で最も多く、次いで「購入量を減らした」が 45.3%、「外食の機会を減らした」が 35.2%となっている。



問 17 青梅市の総農家数は 604 戸（令和 2 年農林業センサス）ですが、減少傾向にあり、現在の農業を維持していくことに課題があります。こうした課題を抱える中、あなたは消費者としてできることは何だと思えますか。いくつでも選んでください。

1. 買い物や外食時に、地場食材を積極的に選ぶ
2. 買い物や外食時に、環境への配慮や持続可能な未来のための目標である S D G s を踏まえた選択を行う
3. ごはんや魚を中心とした和食を心がける
4. 食や農について子どもに教える
5. 食や農について調べてみる
6. 農業体験などへ参加する
7. 地元で生産された食品を選ぶ
8. その他（.....）
9. 特に必要ない

農家数が減少している中、農業を維持するためにできることは、「買い物や外食時に、地場食材を積極的に選ぶ」が 62.5% で最も多く、次いで「地元で生産された食品を選ぶ」が 55.4% となっている。

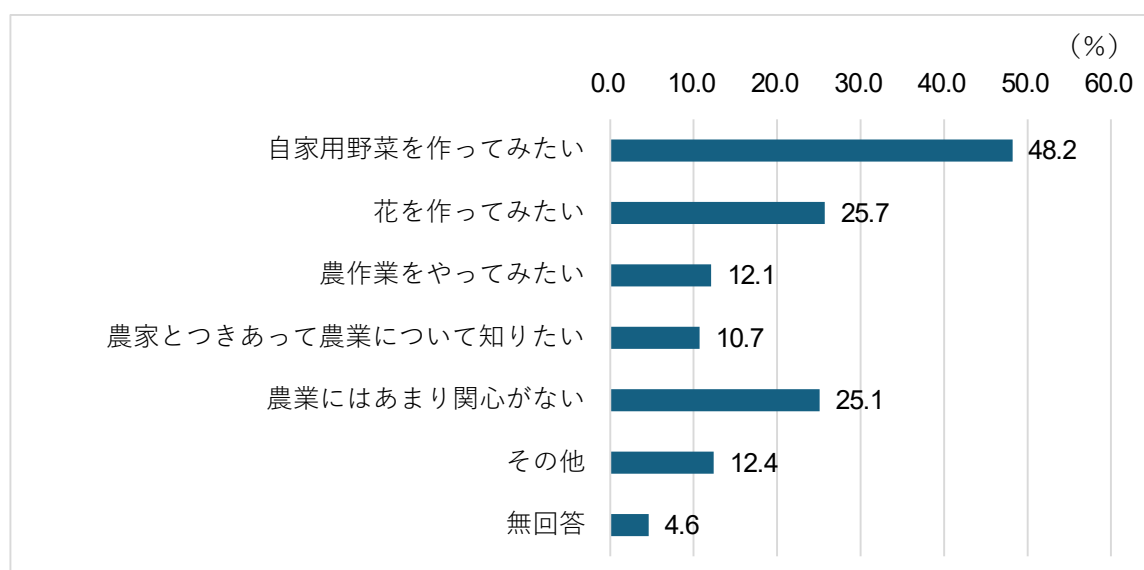


4 農業体験について

問 18 あなたは今後の余暇時間の活用や生きがいとして、農業についてどう思いますか。
いくつでも選んでください。

1. 自家用野菜を作ってみたい
2. 花を作ってみたい
3. 農作業をやってみたい
4. 農家とつきあって農業について知りたい
5. 農業にはあまり関心がない
6. その他 (.....)

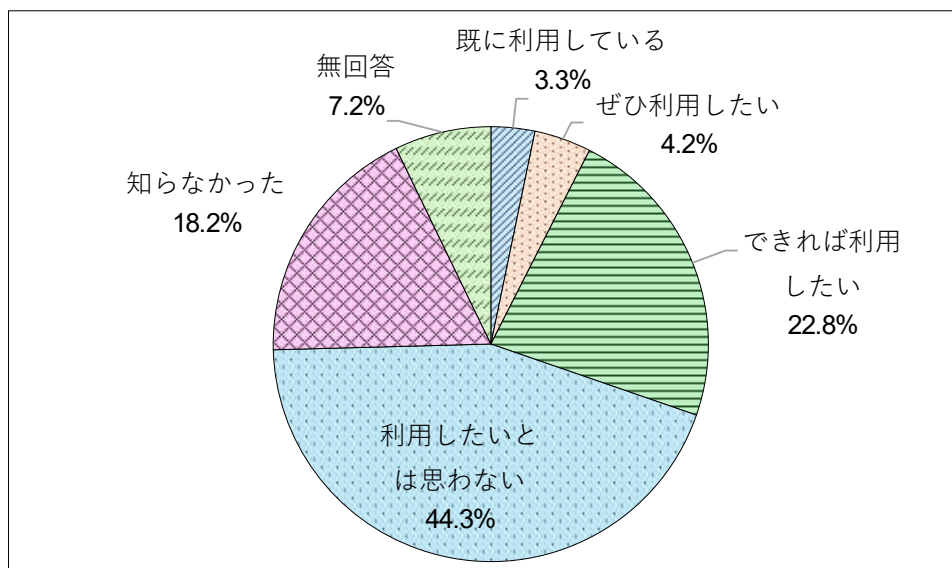
余暇時間の活用や生きがいとしての農業について、「自家用野菜を作ってみたい」が最も多く48.2%であり、次いで「花を作ってみたい」が25.7%となっている。また、「農業にはあまり関心がない」は25.1%であった。



問 19 青梅市には市が管理運営する市民農園がありますが、貸農園の利用についてはどう思いますか。1
つ選んでください。

1. 既に利用している
2. ぜひ利用したい
3. できれば利用したい
4. 利用したいとは思わない
5. 知らなかった

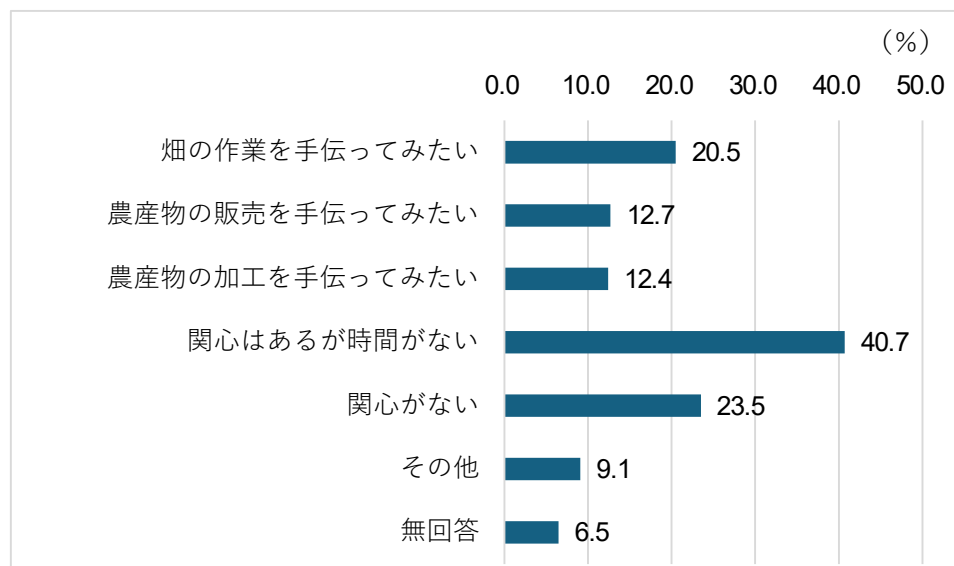
貸農園の利用については、“利用したい”（既に利用している+ぜひ利用したい+できれば利用したい）は約 30.3%であり、一方、「利用したいとは思わない」は 44.3%となっている。



問 20 農家の農作業の手伝いについてどう思いますか。 いくつでも選んでください。

1. 畑の作業を手伝ってみたい
2. 農産物の販売を手伝ってみたい
3. 農産物の加工を手伝ってみたい
4. 関心はあるが時間がない
5. 関心がない
6. その他 (.....)

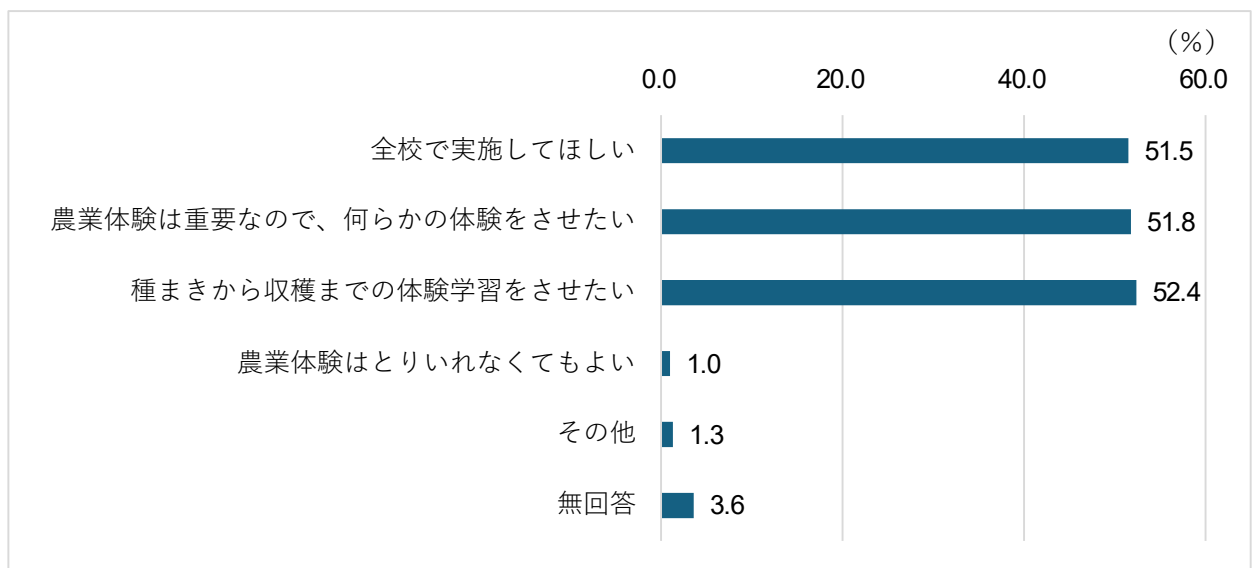
農家の農作業の手伝いについて、「関心はあるが時間がない」が最も多く 40.7%であり、次いで「畑の作業を手伝ってみたい」が 20.5%、「農産物の販売を手伝ってみたい」が 12.7%となっている。一方、「関心がない」は 23.5%であった。



問 21 小学校の学校農園や農業体験についてどう思いますか。2つまで選んでください。

1. 全校で実施してほしい
2. 農業体験は重要なので、何らかの体験をさせたい
3. 種まきから収穫までの体験学習をさせたい
4. 農業体験はとりいれなくてもよい
5. その他 (.....)

小学校の学校農園・農業体験について、「種まきから収穫までの体験学習をさせたい」が52.4%、「農業体験は重要なので、何らかの体験をさせたい」が51.8%、「全校で実施してほしい」が51.5%となっている。

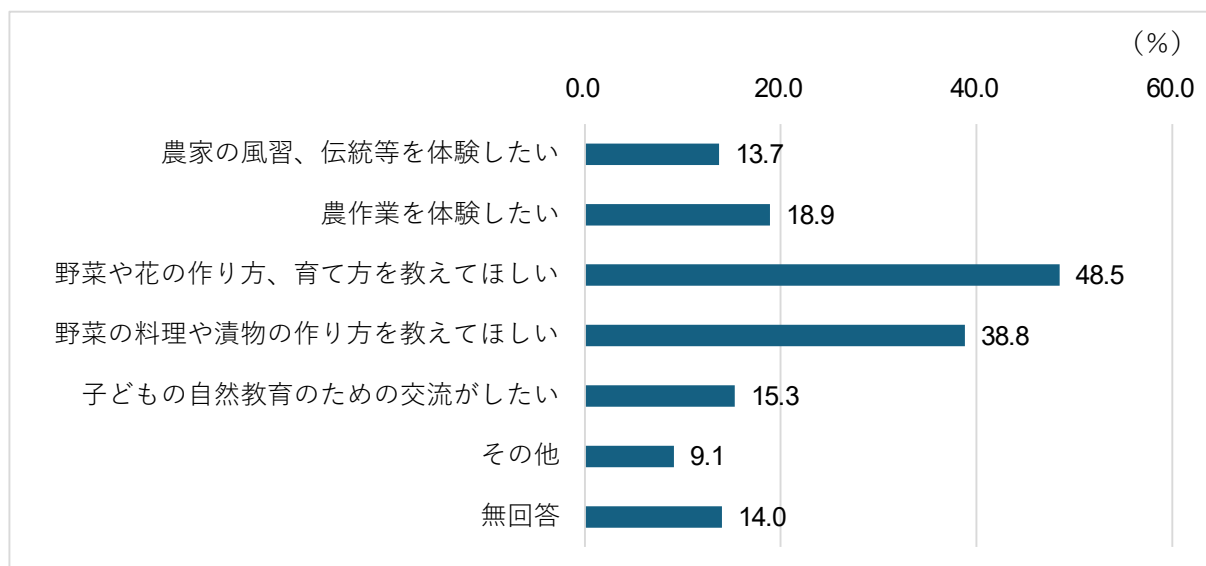


5 農家との交流について

問 22 農家との交流について望むことをいくつでも選んでください。

1. 農家の風習、伝統等を体験したい
2. 農作業を体験したい
3. 野菜や花の作り方、育て方を教えてほしい
4. 野菜の料理や漬物の作り方を教えてほしい
5. 子どもの自然教育のための交流がしたい
6. その他 (.....)

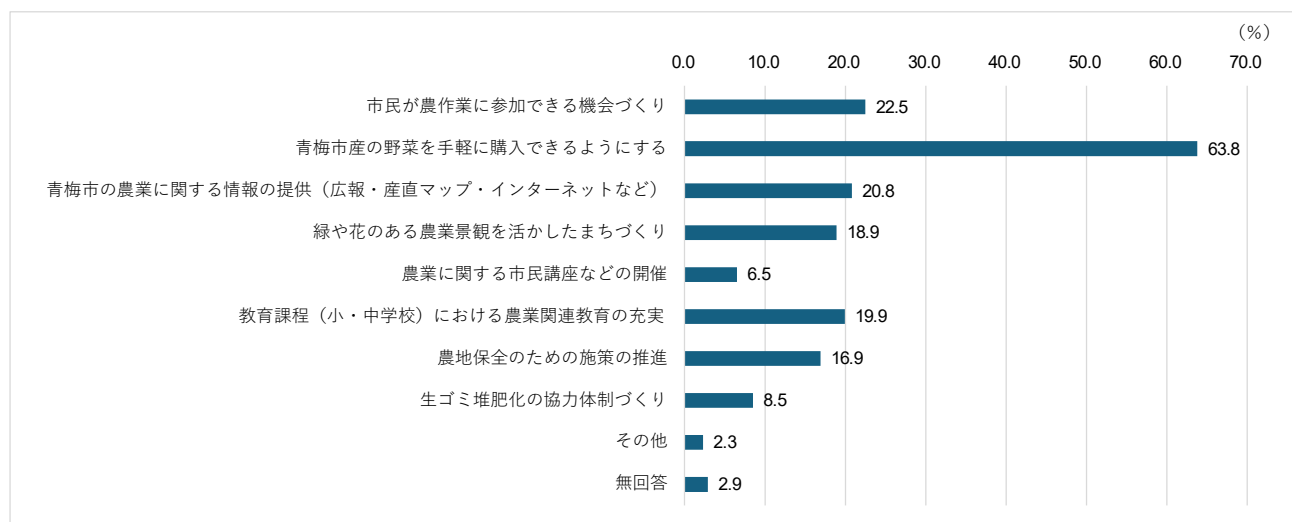
農家との交流に望むことは、「野菜や花の作り方、育て方を教えてほしい」が最も多く 48.5% であり、次いで「野菜の料理や漬物の作り方を教えてほしい」が 38.8% となっている。



問 23 市民が農家とともに農業を育てていくために必要と思うことを2つまで選んでください。

1. 市民が農作業に参加できる機会づくり
2. 青梅市産の野菜を手軽に購入できるようにする
3. 青梅市の農業に関する情報の提供（広報・産直マップ・インターネットなど）
4. 緑や花のある農業景観を活かしたまちづくり
5. 農業に関する市民講座などの開催
6. 教育課程（小・中学校）における農業関連教育の充実
7. 農地保全のための施策の推進
8. 生ゴミ堆肥化の協力体制づくり
9. その他（.....）

市民が農家とともに農業を育てていくために必要なことは、「青梅市産の野菜を手軽に購入できるようにする」が最も多く 63.8%であり、次いで「市民が農作業に参加できる機会づくり」が 22.5%、「青梅市の農業に関する情報の提供（広報・産直マップ・インターネットなど）」が 20.8%となっている。

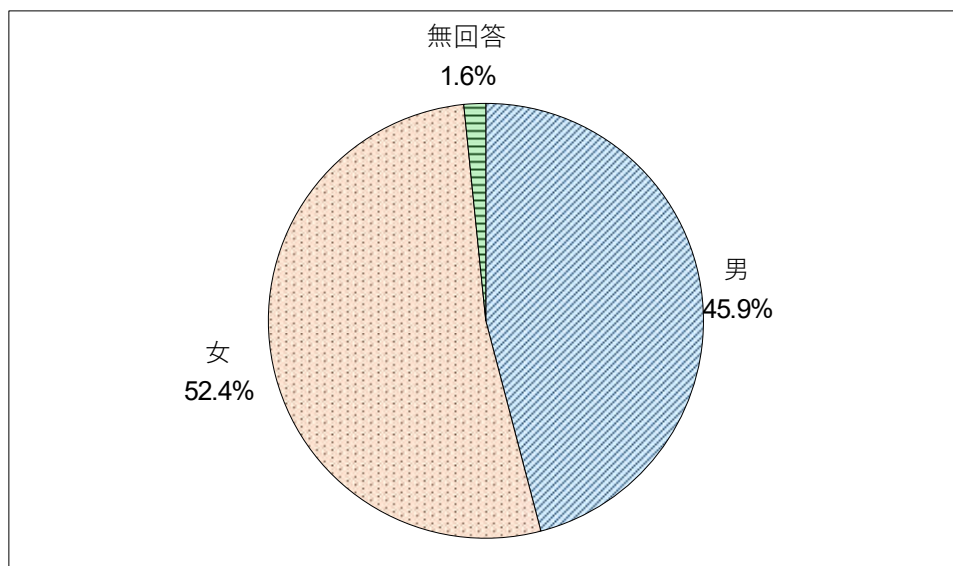


6 あなたご自身とご家族について

F 1 あなたの性別はどちらですか。1つ選んでください。

1. 男 2. 女

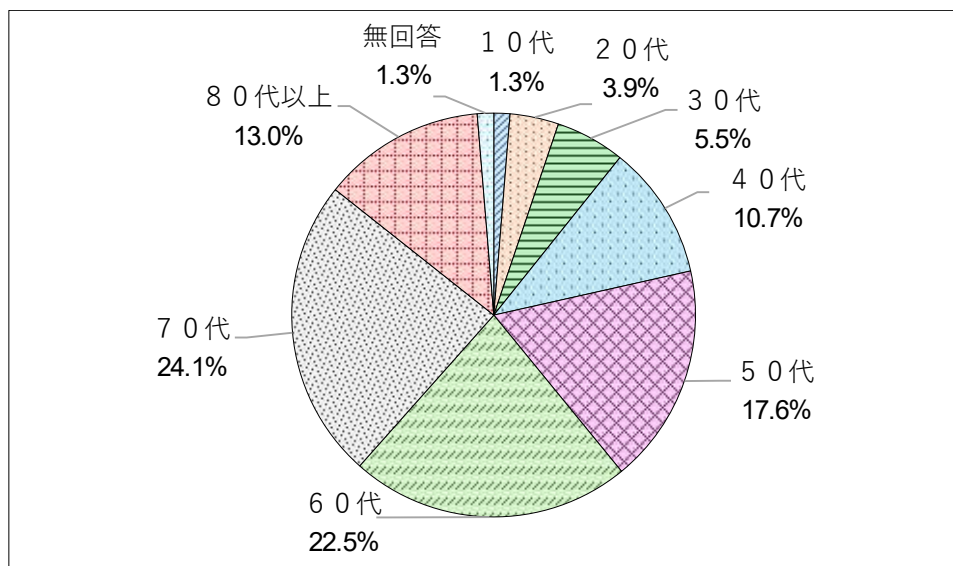
回答者の性別の割合は「男」が46.9%、「女」が52.4%であった。



F 2 あなたは何歳ですか。1つ選んでください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代
7. 70代 8. 80代以上

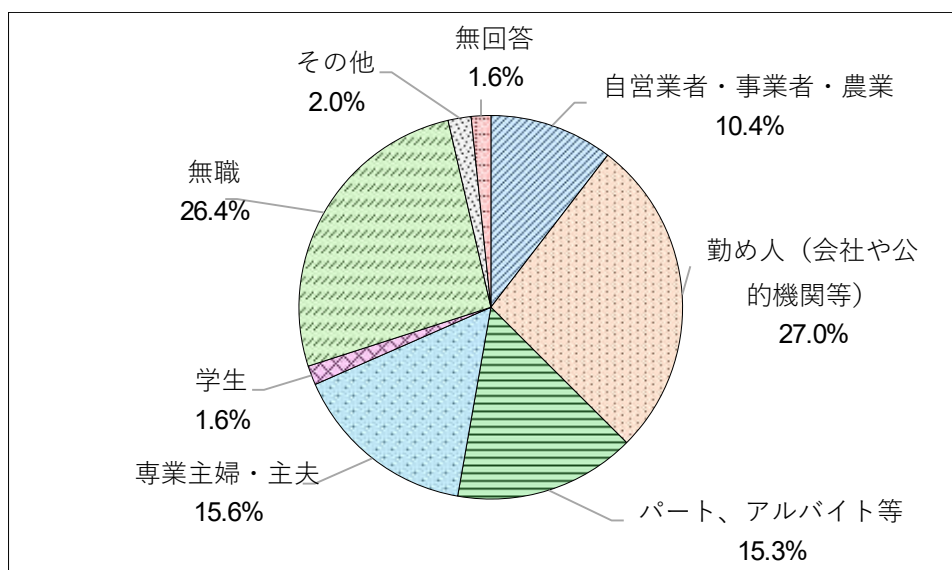
回答者の年齢は「70代」が最も多く24.1%であり、次いで「60代」が22.5%、「50代」が17.6%となっており、60代以上が過半数（64.2%）を占めている。



F 3 あなたの職業は何ですか。1つ選んでください。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 自営業者・事業者・農業 | 5. 学生 |
| 2. 勤め人（会社や公的機関等） | 6. 無職 |
| 3. パート、アルバイト等 | 7. その他（.....） |
| 4. 専業主婦・主夫 | |

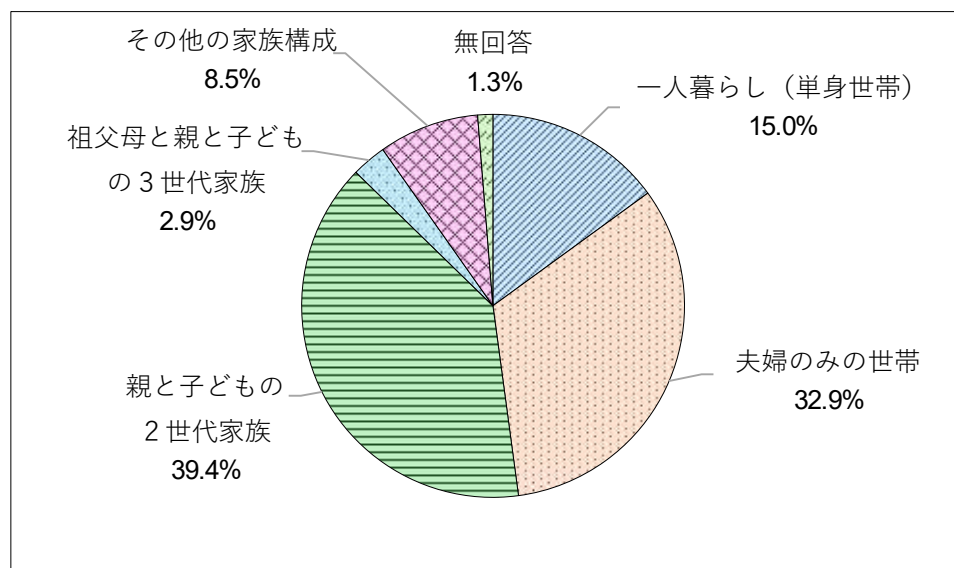
回答者の職業は「勤め人」が最も多く 27.0%であり、次いで、「無職」が 26.4%、「専業主婦・主夫」が 15.6%となっている。



F 4 あなたを含めて同居している家族構成はどれですか。1つ選んでください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 一人暮らし（単身世帯） | 4. 祖父母と親と子どもの3世代家族 |
| 2. 夫婦のみの世帯 | 5. その他の家族構成 |
| 3. 親と子どもの2世代家族 | |

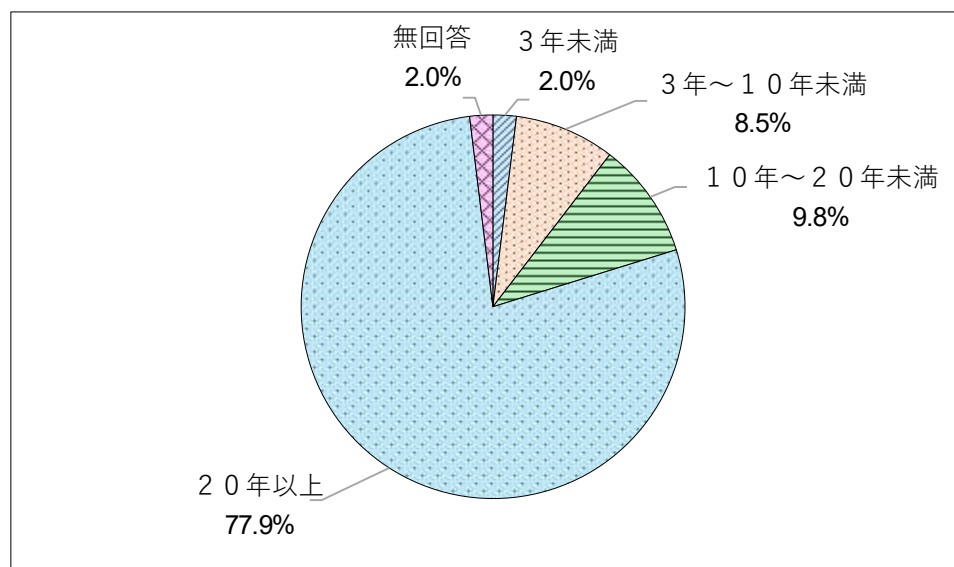
回答者の家族構成は「親と子どもの2世代家族」が最も多く 39.4%であり、次いで「夫婦のみの世帯」が 32.9%、「一人暮らし」が 15.0%となっている。



F 5 あなたは青梅市に何年住んでいますか。1つ選んでください。

- | | | | |
|---------|-------------|--------------|----------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年～10年未満 | 3. 10年～20年未満 | 4. 20年以上 |
|---------|-------------|--------------|----------|

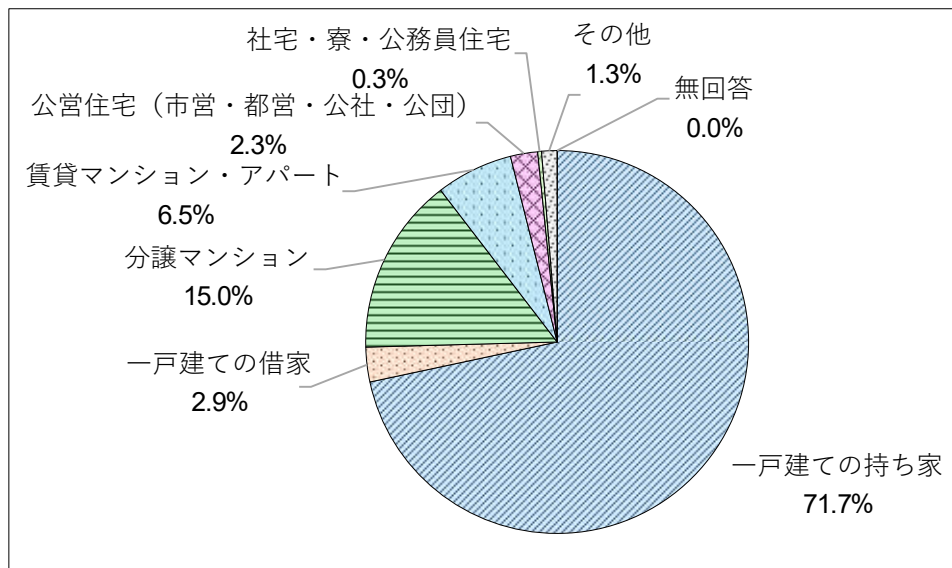
回答者の青梅市への居住年数は「20年以上」が最も多く 77.9%であり、次いで、「10年～20年未満」が 9.8%、「3年～10年未満」が 8.5%となっている。



F 6 あなたのお住まいの形態はどれですか。1つ選んでください。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 一戸建ての持ち家 | 5. 公営住宅（市営・都営・公社・公団） |
| 2. 一戸建ての借家 | 6. 社宅・寮・公務員住宅 |
| 3. 分譲マンション | 7. その他（.....） |
| 4. 賃貸マンション・アパート | |

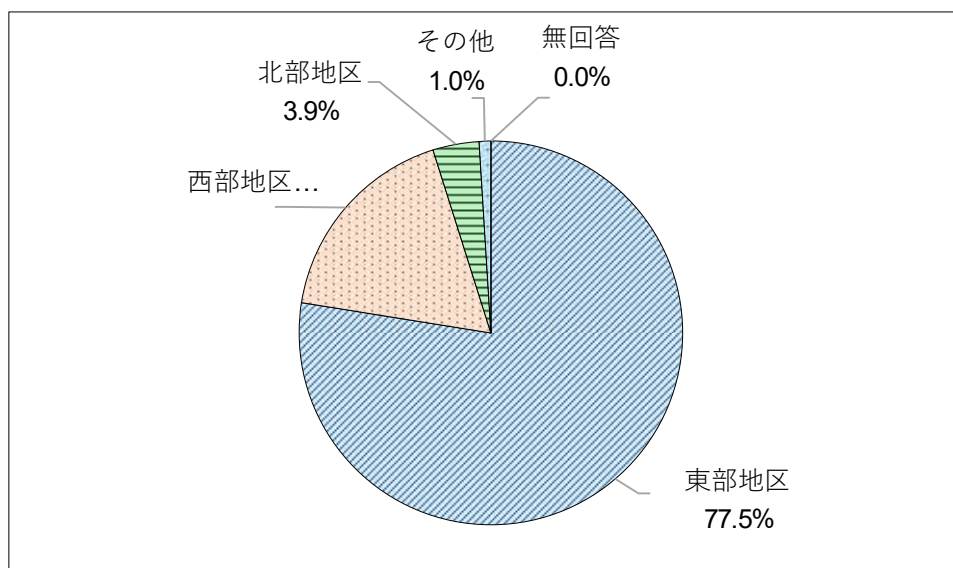
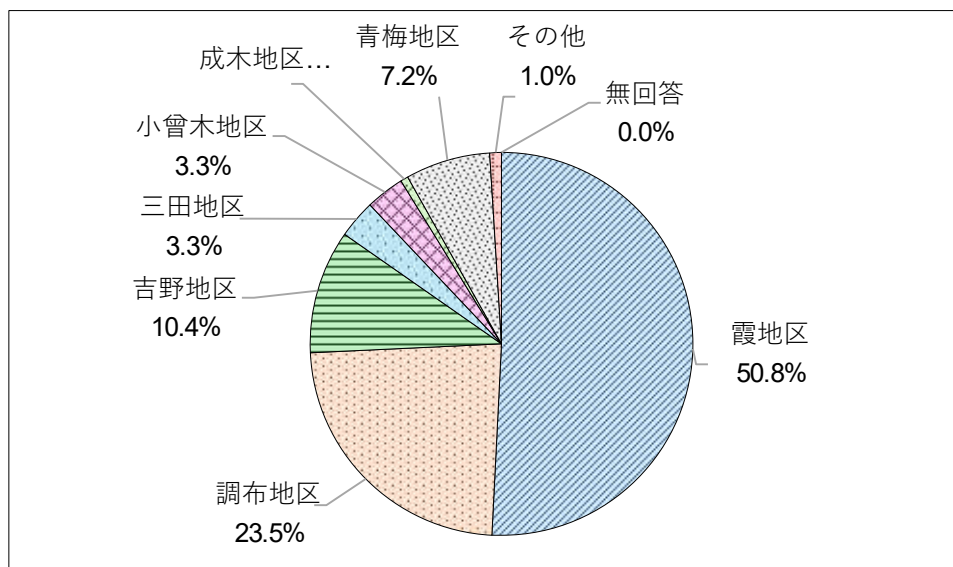
回答者の住居は、「一戸建ての持ち家」が最も多く71.7%であり、次いで「分譲マンション」が15.0%、「賃貸マンション・アパート」が6.5%となっている。



F 7 あなたのお住まいを以下から1つ選んでください。

回 答	詳 細
1. 霞地区	根ヶ布、東青梅、師岡町、吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺、新町、末広町、藤橋、今井
2. 調布地区	千ヶ瀬町、河辺町、友田町、長淵、駒木町
3. 吉野地区	畑中、和田町、梅郷、柚木町
4. 三田地区	二俣尾、沢井、御岳本町、御岳、御岳山
5. 小曾木地区	富岡、小曾木、黒沢
6. 成木地区	成木
7. 青梅地区	勝沼、西分町、本町、上町、仲町、住江町、滝ノ上町、森下町、裏宿町、天ヶ瀬町、大柳町、日向和田
8. その他	(.....) ←上記に当てはまらない場合

回答者の居住地区は、「霞地区」が最も多く 50.8%、次いで「調布地区」が 23.5%、「吉野地区」が 10.4%であった



7 青梅市農業の振興のためのアイデアなど

(整理中)